

24 玉桜まちづくり協議会



防災部、青少年育成部合同で行われた
玉桜親子防災お散歩の様子

玉桜まちづくり協議会は、国道23号線により東西に大きく分かれており、東側の玉垣と西側の桜島の二つの地区を合わせて「玉桜まちづくり協議会」と名付けられました。



玉桜親子防災お散歩にて設けられた
消防車と地震体験車のコーナー

今回紹介するのはこの3つの事業！

玉桜まちづくり協議会は、防犯安全部、防災部、青少年育成部、健康スポーツ部、文化振興部、社会福祉部、まちづくり部の7つの部で構成されます。玉桜まちづくり協議会の地域づくり研修生である私たちが、参加した部会での地域づくり事業について紹介します。

1 防災部

取組① こども食堂

夏休みと冬休みに「こども食堂」が開催されました。このこども食堂は、炊き出し訓練を兼ねて防災部の役員の方が作ったカレー等を小学生にふるまうなどし、地域の皆さんの居場所づくりにつなげる事業です。玉桜まちづくり協議会の防災部長は「またどこかで地域の方同士で会って話ができるよう、つながりをもってみんなで楽しくなるようにしたい」という思いで、今回のこども食堂を企画運営されました。



▲カレーを食べるこどもたち

取組のきっかけ

地域の皆さんから「こどもに少しでもお腹いっぱいになってほしい」との声があり、特に保護者が働きに出て、孤食にならざるをえないこどもの居場所づくりのために、このイベントを企画しました。

2 社会福祉部

取組② エンジョイ・シニア・フェスティバル



▲ポンポンを振る会場の皆さん

10月には、「エンジョイ・シニア・フェスティバル」が地域の民生委員児童委員の御協力のもと、玉垣のふれあいホールにて行われました。この日は千代崎中学校吹奏楽部の方に様々な曲を演奏してもらいました。会場の皆さんはリズムに合わせた手拍子で賑わっていました。そしてマジシャンのRYUHEIさんのマジック披露では、会場の参加者の方と一緒にお札のマジックをしたり、音楽療法士の桐生さんによる演奏では、リズムに合わせて会場の皆さんが配られたポンポンを振ったりしました。こうした演奏やマジックで、会場の皆さんは、楽しまれました。

取組のきっかけ

玉垣、桜島地区に住む高齢者の方が外に出られる機会を提供するため、この取組を企画しました。会場のふれあいホールまで距離があり、足を運びづらい玉垣地区の方にも参加してもらうために送迎バスを用意しました。

3 文化振興部

取組③ 新春 餅ふるまい

1月には「新春 餅ふるまい」と題して、餅つき体験やお餅と豚汁のふるまいを行いました。家族連れの方々から、高齢者の方々まで多くの来場があり、地域の方々の交流や賑わいの創出につながりました。ふるまいではお餅と豚汁、各400食程度の用意がありましたが、開始時間からわずか1時間程度で終了となりました。



▲初めての餅つきを楽しむこどもたち

課題を発見！

想定以上の来場者があり、人や車の往来が激しかったため、次年度は、導線を意識した会場設営や近隣の商業施設に協力を仰ぎ、駐車スペースを借りたりすることで、より安全に取組を実施していきたいとの意見がありました。

問合せ先 ▶ 玉桜まちづくり協議会 事務局

住所：鈴鹿市北玉垣町980番地(玉垣公民館内) ☎電話番号：382-0130